

問の滞納額は、約2億500万円、17年度不納欠損額は約467万円である。

**問** 悪質な滞納者への対策は考えているか

**答** 国保税の未納者には、有効期限4ヶ月の短期被保険者証、納付期限から1年を経過した場合は、被保険者資格証明書を交付している。被保険者資格証明書を交付された者は医療費の全額を一旦負担し、その後精算することになるが、交付事務を通じて、できるだけ被保険者と接する機会を確保し、納付相談、納付指導に努めている。

平成19年度御前崎市介護保険特別会計歳入歳出予算について

**問** 当市の介護保険料は、県下での程度の位置にあるのか

あり、県下第3位に位置する。  
平成19年度御前崎市農業集落排水事業特別会計歳入歳出予算について

**問** 施設管理費が計上されているが、使用料収入に

対し、その2倍の管理費が掛かっているという状況は如何なものか。他市の状況も調査研究して見る必要があるのではないか

**答** 他市の状況を調査したことは無いが、今後、調査研究させていただきたい。

平成19年度御前崎市下水道事業特別会計歳入歳出予算について

**問** 公共下水道については、現在、浄化センター管理委託料を使用料収入が上回っている。19年度に施設を増設することによって管理費が大幅に増えることになると思うが、1、550トンとし

**問** 現在の下水道接続率は、どの程度か。また、整備率と接続率の違いは

なければならぬものか

**答** 公共下水道については、最終的に3池を計画しており、今回が最終の3池目ということである。

**問** 管理費を使用料収入で賄うことができるよう管理費の見直しも行う必要があるのでは

**答** 管理費の圧縮についても研究して、下げる努力をしていきたい。

平成19年度御前崎市水道一般会計からの補助金が従来の3億円から3億4千万円に増額されたが、公営企業会計である以上、経費削減の努力や内部留保資金を使う等の配慮が必要ではないのか

**答** 受水量が日量2、300トン増えたことにより、大井川広域水道企業団へ受水量の支払い増の必要が生じており、本来は、水道料金の改定を行い市民に負担をお願いするものであるが、これには条例改正を行い市民に周知する必要があるので、当面は一般会計から補助を

いただき、平成21年4月頃に料金改定を行いたいと考えている。尚、その他の経費については前年度と比較して圧縮をしている。また、合併3年目で水道料金の値上げは、市民の理解を得にくい点や赤字決算を行っている中で料金改定を行うことも如何なものかと思われるので19年度に検討したいと考えている。

平成19年度御前崎市病院事業会計予算について

**問** 御前崎総合病院は、東遠6病院の中でも給与比率や経費率が圧倒的に高い。他市の公立病院や民間の医療機関を利用する人も多い中、多額の補助金を支出し続けることは税金の使い方が不公平ということにならないか。4月以降に常勤医師が採用される可能性はあるのか



面は一般会計から補助をいただき、平成21年4月頃に料金改定を行いたいと考えている。尚、その他の経費については前年度と比較して圧縮をしている。また、合併3年目で水道料金の値上げは、市民の理解を得にくい点や赤字決算を行っている中で料金改定を行うことも如何なものかと思われるので19年度に検討したいと考えている。

**問** 近隣の公立病院と比較して、技師や事務員等の比率が高いように思うので、この辺りは改善の余地があるのではないか

**答** 給与比率や委託料が高いというところで、18年度に委託料の見直しを行うと共に非常勤の事務職員10名の削減や、正規事務職員2名を市役所へ異動させた。19年度は段階的に事務職員を減らして外部民間委託に切り替えていきたいと考えている。

平成19年度御前崎市病院事業会計予算について

**問** 御前崎総合病院は、東遠6病院の中でも給与比率や経費率が圧倒的に高い。他市の公立病院や民間の医療機関を利用する人も多い中、多額の補助金を支出し続けることは税金の使い方が不公平ということにならないか。4月以降に常勤医師が採用される可能性はあるのか

**答** 1名採用できそうな状況

は、どの程度か。また、整備率と接続率の違いは

なければならぬものか

**答** 整備率とは、全体計画に対する整備済区域の率であり、接続率とは、宅内配管と公共マスのつなぎ込みが済んだ率のことである。下水道接続率は、平成18年3月末で、池新田処理区が62%、高松処理区が66%である。

平成19年度御前崎市水道事業会計予算について

**問** 一般会計からの補助金が従来の3億円から3億4千万円に増額されたが、公営企業会計である以上、経費削減の努力や内部留保資金を使う等の配慮が必要ではないのか

**答** 受水量が日量2、300トン増えたことにより、大井川広域水道企業団へ受水量の支払い増の必要が生じており、本来は、水道料金の改定を行い市民に負担をお願いするものであるが、これには条例改正を行い市民に周知する必要があるので、当面は一般会計から補助を

いただき、平成21年4月頃に料金改定を行いたいと考えている。尚、その他の経費については前年度と比較して圧縮をしている。また、合併3年目で水道料金の値上げは、市民の理解を得にくい点や赤字決算を行っている中で料金改定を行うことも如何なものかと思われるので19年度に検討したいと考えている。

平成19年度御前崎市病院事業会計予算について

**問** 御前崎総合病院は、東遠6病院の中でも給与比率や経費率が圧倒的に高い。他市の公立病院や民間の医療機関を利用する人も多い中、多額の補助金を支出し続けることは税金の使い方が不公平ということにならないか。4月以降に常勤医師が採用される可能性はあるのか

**答** 1名採用できそうな状況

